

道東地区教会連合会機関誌



道東 31 こ う ほ う 光 報



'DÔTÔUKÔHÔ', Newsletter of KONKOUKYOU East Hokkaido reg., No. 31 Oct., 2013

「神人あいよかけよの生活運動」の取組みにあたって

道東地区信徒会副委員長 池亀徳和

神人あいよかけよの生活運動

願 い

御取次を願ひ 頂き

神のおかげに目覚め

お礼と喜びの生活をすすめ

神心となって人を祈り 助け 導き

神人の道を現そう

「神人あいよかけよの生活運動」の「願ひ」の内容を、私自身どのように受け取り、理解をし、取り組んで行くかについて述べさせていただきます。

「神人あいよかけよの生活運動」は、神様を忘れた人間中心の生き方から難儀が生まれる中であって、そ

の難儀から人を救い助けるため、教祖生神金光大神様が天地金乃神様からの「世間になんばうも難儀な氏子あり、取り次ぎ助けてやってくれ、神も助かり氏子も立ち行く」とのお頼みを受けられたことに立ちかえり、私たち一人一人が、生活の中に神様が喜ばれる信心実践を現し展開してい

くことを願って発足されたものであると教えられております。

○

その「願ひ」ですが、一行

目の「御取次ぎを願ひ 頂き」

とは、私たち信奉者の神様へ

のお礼やお詫び、お願いなど

を教祖様のお手代わりである

教会長先生にお届けし、教会

長先生が私たちのお届けの内

容を神様にお取次ぎ下さり、

神様からのお言葉を頂くこと

であると理解しております。

教祖様は「氏子身の上のこと

と、何なりとも実意を持って

願ひ」、「心、実意を持って神

を願ひ、難なく安心のこと」

と仰っておりますように、私

たちの生活上のあらゆる問題を神様に実意をもって願って

よいと言っておられます。さらに、「神の理解を賜り、承服いたせば安心なり」とも仰っておられるように、お取次ぎを願ったうえでの大切なことは、取次ぎ者の言葉を「神様のご理解」として受け取り、そして納得することが大切である言っておられるわけであります。

ですから、自分や家庭、社会で起こってくる様々なことを実意を持って真剣にお届けをし、そのときお結界でいただいたお言葉は、神様のご理解、あるいは、み教えとして受け取らせていただく稽古に取り組ませていただいています。いまだに神様に、教会長先生ご無礼をしているのが現状で、まことに相済まなく思っております。

次に「神のおかげに目覚

め」ですが、これは「天地金乃神様のおかげに目覚める」ということであり、私たちが神様のおかげを心から納得し、受け取る稽古を続けていく中で、神様のおかげに深く目覚め、自分と神様との間柄がさらに深まることだと教えられております。

その「おかげ」には「人間はおかげの中に生まれ、おかげの中で生活し、おかげの中で死んでいくのである」という「信心せんでもおかげはやつてある」という「おかげ」。それとは別に、「願う氏子におかげを授け」、「氏子信心いたしておかげ受け」と仰るような、信心していただく、「おかげ」があると教えられております。

私自身は、実意を込めた信心に取り組み、私たち人間の

命はもちろん、生活をも元から支えてくださっている天地金乃神様のお働きによる「おかげ」に、より強く目覚め、自分だけが助かるのではなく、神様が助かり喜ぶと共に私たち氏子も助かり喜ぶ、信心の稽古に取り組ませていただきます。

そして、「お礼と喜びの生活を進め」とは、「神のおかげに目覚め」と、そこには必然的に「お礼の心が生まれ、喜びの生活が生まれてくる」と教えられています。

四代教主金光様は、「私たち人間は困ったことや難儀なことに出会いますと、困ったことを先にお願ひします。が、そうではなく、天地金乃神様から命を頂き、生かされている今日の私であり、教祖生神金光大神様がお道をお

開きになり、世話になっておかげを頂いているからこそ、難儀からの助かりをお願いすることが出来るのであるから、お礼を土台にして、おかげを頂くことが大切である」と教えておられます。

私たち人間は、とかく困ったことや難儀なことが起きてくると、喜怒哀楽に振り回されて神様のことを忘れ、あるいは神様に願っておかげをいただいても、問題がなくなれば時間と共に「お礼と喜びの心」が薄れてしまうことがあります。おかげを受けた後も、神様のことを忘れないように、神様に心を向ける信心の稽古が大切であるとも言われております。ですから、天地金乃神様、教祖生神金光大神様のお働きはもちろん、世話になっている人や物へのお礼を土台とした信

心を進めさせていただき、わが心をしっかりと神様に向ける信心の稽古に取り組みせていただきます。

○

願いの四行目「神心となつて、人を祈り、助け、導き」

につきましては、「願い」の一行目から三行目は、自分自身の信心を深める実践であるのに対して、この四行目は

「神様のお役に立たせていただきたい、ご用にお使いいただきたい」と言う願いが込められた信心の実践であると教えられています。

「神心」について教祖様は、「不幸せな者をみて、真にかわいい（かわいそう）の心から、わが身を忘れて人を助ける、そのかわいいと思う心か神心じゃ、その神心におかげがいただけるのぞ、それが信心ぞ」と仰っております。神

様からいただいた分霊様わけたまを通じて現れる「自分の中の神様」へをも心向けながら、教祖様のみ教えを改めていただく信心の稽古に取り組ませていただきます。

○

最後の「神人の道を現そう」につきましては、二つの意味が込められていると教えられています。

「御取次ぎをお願い 頂く」

ことで、「神のおかげに目覚め」、そして「お礼と喜びの生活を進め」て行く中で、「神人の道」すなわち、「神も助かり、氏子も立ち行く道」、「氏子あつての神、神あつての氏子、あいよかけよで立ち行く道」が現される。

もう一つは、「お礼と喜びの生活を進め」る中で「神心」となつて、人を祈り、助け、導く「実践に取り組んでいく

ことにより、「神人の道」を現代社会に現して行くことができると言っておられます。

ある先生が、現教主金光様に、「神人の道とはどういうことなのか」とお取次ぎを願ったところ、「世話になるすべてにお礼を言う心です」とご理解されたとのこと

○

私自身、残された8年間で、どこまで神様の願いに沿った実践が出来るのかまったく自信はありません。ですが、できるだけ多く教会に参らせていただき、お取次ぎを通じ、神様との間柄をより一層深めさせていただく。そして、教会長先生はじめ皆様のご教導をいただきながら「神人あいよかけよの生活運動」の内容を、我が体、心

にしつかりいただく稽古をさせていただいて、「神と人あいよかけよで共に立ち行く道」、「神人共に喜ばれる信心」、「世話になるすべてにお礼が言える信心」を家庭に、そして地域社会に現すことができるよう、「真剣にお取次ぎをお願い、喜んで神様のご用にお使いいただく信心」の稽古に取り組ませていただく決意であります。

平成25年10月

道東地区教会大祭日程

- ・釧路教会 10月27日(日)
- ・北見教会 11月3日(日)
- ・十勝教会 11月17日(日)
- ・帯広教会 11月10日(日)
- ・網走教会 10月13日(日)
- ・滝上教会 11月4日(祝)

教会掲示板

教会からあれこれ

北見教会

北見市寿町三丁目五番一号
TEL ○一五七—二四—七四七四
FAX ○一五七—二四—七四七四

去る9月30日に、私の母で函館教会三代教会長夫人

が、幽世で待つ父と兄の元へと旅立ち、珠花姫という諡を頂きましたが、これは父が生前、草花を育てるのを楽しみにしていた母を思つて考えておいたものです。珠のように大切な、花のように美しく愛らしい人、父にとって母はそういう存在だったのかと思うと、労多い教会生活の中の母の幸せを思い、悲しみが少しやわらぐような気がいたします。

母は、常々花が咲く頃に逝きたいわと申しておりましたが、豪華に花々が咲き誇り

華やかさをまとう春より、慎ましく誠実に生き、人の役に立つこと、人を喜ばせることを心がけた母には、秋の草花が庭先で風にゆられ、紅葉が野山を染め始める静かな秋が似合うのかもしれないと思ひ返しております。

御本部参拝などの思わぬ諸事情が重なりましたが、万事にご都合お繰り合わせを頂き、まずは身近な者達で10月3日の3時から安宅祭、告別式を仕え、4日の8時から出棺祭、火葬場へと順次滞りなく仕えさせて頂きましたことは、本当に有り難いことでございます。

思えば、多くの方々に支えられての母の一生でございました。皆様から長年賜りましたご厚情とお祈り添えに、紙面をお借りして深く感謝申し上げます。

(矢代)

釧路教会

釧路市宮本一丁目五番二二号
TEL ○一五四—四一—三五一
FAX ○一五四—四一—三六一

今月は13日が網走教会のご大祭、20日北海深川教会の百年祭、27日が当教会の大祭ということで、10月3日の本部のご大祭に参拝させて頂いた。

この度は私1人の参拝であつたが、出かける前、奥さんから、「ご高齢の方が多いし、何かあつたら大変だから、空き時間には電話をください」と言われていたのに、なぜか、携帯も手帳を忘れて家を出ていた。それに気が付いたのが飛行場で、「マナーモードに」というアナウンスを聞いた時だ。服のポケットに手を入れて、「アレっ・ない」で気が付いた時にはもうどうすることも出来なかつた。

2日の日は釧路↓羽田。羽

田↓岡山で、岡山のホテルに泊まつた。

3日は10時頃お届けができた。参拝届を出していなかった。少し遅く行ったら、お届け出来なかつたかも知れない。お届けが終わつて、下がつてくると沢山の先生が待つておられた。

祭典後、福島義次先生と約束して、松江に向かつた。

4日、出雲から↓羽田の予定であつたが、松江からのリムジンバスに遅れ慌てた。松江の観光案内所に行き、出雲空港に電話を繋いでもらい、「松江のリムジンバスの乗り遅れて、予定の飛行機に乗れないのですが……」と言うと、「この航空券は、飛行機の便はお取り替え出来ませんが……」と言う返事が返つてきて、何とかかなり

まさんかと頼み込んだら、暫く待たされて、今回限りですよ、と念を押され、次の便に乗れるようにしますと言ってくれました。

ただ、携帯がないので、東京で姉と待ち合わせていたが、ホテルで姉の処に電話して、しこたま叱られた。

とにかく、5日の日は予定通り帰釧出来ホットしている。これも金光様のおかげか。

(江郷)

帯広教会

帯広市東四条南八丁目四番地
TEL ○一五五―二三―六八三五
FAX ○一五五―二三―六八三五

教祖百三十年のお年柄を迎え、第二日、10月6日の大祭に併せて本部団体参拝をしました。この度は3名の参拝でした。参拝の都合が着くことが出来なかった信奉者

は、それぞれ6日教会より遙拝をしました。

5日朝、帯広く新千歳空港く広島く福山く金光という日程です。なるべく本部における記念大祭には、朝参りができるよう金光町に宿泊を願っております。6日朝、金光様のお出まし、御祈念をすべく金光町にある「かつらや」さんに宿泊をしました。5日の夜は、久しぶりに「神露」にて直会を行いました。楽しい一時です。宿には東北の教会の教会長先生、信奉者が一緒に食事を楽しみました。

毎回であります、朝の2時頃から宿泊所、金光町が動き出します。それは金光様のお出ましを迎え、御祈念をさせて頂くという願いが信奉者にあるからです。大祭は9時30分から始まり11時30分頃

終了しました。

当日(6日)は日曜日ということもあり斎場がほぼ満杯になりました。その後、今回も観光を兼ねておりますので、飛騨高山観光、世界遺産 白川郷の合掌造り集落へ向かいまし。世界遺産の目的は世界平和とそれぞれが人類の財産であるという共通認識のもと成り立ちます。しかしながら保全の問題、訪れる人々のマナーが問題になり、喜んでばかりではないそうでありま

す。
7日、高山市の朝市にいき、テレビで放映されている「赤カブ検事」のように「赤カブ」が有名で自宅で作った漬け物がそろっていました。それぞれの自慢の漬け物、果物があ

り朝から観光客で賑わっていました。その後レンタカーを借り白川郷へ。世界遺産というところもあり、ここは日本かというぐらゐ海外からの多数の観光客や、若者達が訪れておりました。

白川郷の宿泊は国重要伝統的建築物選定 創業明治17年の宿に泊まり、飛騨牛と美味しい地酒を堪能しました。最終日8日富山城を見学、富山空港より事故もなく台風の影響もなくおかげをいただいた帰路につきました。

楽しい観光も大切でありましたが「信心すればおかげになります」とのみ教えを頂き、おかげをいただきたいと願うだけでなく、おかげをいただく信心をさせていた

(田中)

網走教会

網走市北四条西一丁目六番地
TEL 〇一五二―四三―三九五四
FAX 〇一五二―四三―三九五四

滝上教会

紋別郡滝上町元町土別通り

先日、東藻琴で牧場を経営なさっているお宅で、例年の霊祭をお仕えた際のことです。ご神前の左側に床の間があつて石の置物が飾られていました。よく見るとそこには酪農学園大学創設者の黒澤西蔵氏（道内への酪農の定着発展に多大な功績を残された）の五つの訓辞が「農民道五則」と題され刻まれていました。

第一、農民は誠そのものたれ
第二、農民は天地の経綸に従え

第三、農民は土を愛せよ
第四、農民は勤労を尊び儉約を守れ

第五、農民は協力一致せよ

というものでした。

中でも私の目を引いたものは第二と第三です。

第三の「土を愛せよ」ということのなかには、ただ単に農業は土作りが大事だからというだけではなく、そこには「農業（仕事）への誇りと愛着を持って」との黒澤氏からの深いメッセージが読み取れます。どの職業にも通じる大切な理念ではないでしょうか。もし我々大人が仕事に誇りを持てずにいたとすると若い人がそれを見てやつてみたいと思うでしょう。たとえどんな苦勞をしようとも自信と誇りを持つて一生懸命に取り組む姿こ

そ輝いて見えるものと思ひます。

第二については、まず「経綸」ということを初めて知りました。辞書には「国家の秩序をととのえ治めること。また、その方策」とありました。いわば政治といった意味合いでしょうか。では、その上に「天地の」とつけた場合どんな意味になってくるのか。それが分からずにいました。

おおよその見当で、本教でいうところの「天地の道理」ではないだろうかと思つたのですが、「天地の経綸」ということでインターネットで検索してみると大本教（金光教から派生した宗教といわれています）のページがたくさん出てきました。そこで私は黒澤氏は大本教のご信者さんだったのだろうかと思つたの

ですが、大本教の教義とされているなかに「人が主体となつて天地を整え治める」とありました。こうなつてきますと私の見当とは違つてあるわけですから、天地の働きや理といったものに人間が合わせて生きる、本教的に言えば「天地の道理」に合つた生き方をするということですから、大本教のそれとはずいぶん見識が違つています。

霊祭を終えたあとにそこのご信者さんにうかがつたところ、なんと黒澤氏はクリスチャンなんだそうです。酪農学園大学もクリスト教の教えをもとに創設された学校だつたんです。

そこで改めて「経綸」という言葉を調べていくと「クリスト教用語辞典」というサ

イトに「経綸」という項目があり、「神が世界と歴史を支配し導いておられるということ。摂理。神のみわざ」と出ているのを見てようやく納得するに至りました。天地（神）の摂理に従って農業に従事するということです。

本教でいうところの「天地の道理」という言葉もそうですが、この「天地の経綸」という言葉の響きもいいものですね。「土を愛する」ということもいいことですし、本教でいう「地（神）の恩」ということもあってとてもいい言葉だなと思いました。あらためて、信仰をもとにして仕事をすすめることの大切さを感じました。

（菊川）

十勝教会

池田町旭町一丁目九番地二二
TEL 〇一五五七―二一三三二
FAX 〇一五五七―二四二二三

十勝教会も教祖百三十年本部生神金光大神大祭には6日のご祭典に参拝させていただくことができました。5日の前夜の集いも参加でき、6日午前中は御大祭に参拝、午後からは直信教会である芸備教会へ参拝させていただきました。

この度は引率のみよ子先生を入れて8人での参拝。ジャンボタクシーを借り切つての旅程でしたが、小回りがきき、参拝後の小豆島観光などでは運転手さんの機転もあってとても楽しい団体参拝になったようです。

さて、この原稿は鼻がムズムズし、全身に何ともいえない倦怠感と軽い悪寒がする

中で書いています。つまり風邪ひきです。今年6歳になる長男からしつかりとうつされてしまいました。

その長男クン、何日か前から、「コンコン」とやっていましたが、一昨晚、北海道教会の記念祭に参拝するため、家族で外泊している最中、とうとう39度を越える熱を出しました。しかも、その時はお母さんと中学生の長女は学校行事で別行動、父と幼稚園児の息子、小学二年生の次女の3人での外泊だったのです。次女も長男もこの記念祭にお参りするのを（特に吉備舞を）とても楽しみにしていました。さすがに熱が続けば帰るしかないかと思案していました。幸い前日に病院から薬をもらってき

薬が効いて眠くなってきたせいか息子はベッドの中で無言。「辛い？ どこか痛い？」と聞くと「ううん」ということで熱以外は問題はないようでしたが、その熱も39度を越えると相当つらいはず、時々「うーん」とうめき声が聞こえてきます。さすがに段々心配になって「夜間病院でも？」と思いました。が、とりあえず頭をさすりながら天地書附を唱えていました。その時ふと息子に「金光様、金光様ってお願いしたら明日には元気になると思うよ」と声をかたら、小さい声で「コンコウサマ、コンコウサマ」と唱えているのが聞こえます。この声を聞き、まだ熱は下がってはいませんが、親として不思議と安心し、「明日にはだいじょうかな？」と思わされ、息子に

添い寝して朝を迎えました。
次の日、目が覚めてすぐに
体温計で熱を計ると、ほぼ平
熱に近い微熱、ゴハンもいつ
も通りに食べ、無事記念祭に
参拝させて貰うことができ
たのでした。

恐らく純真無垢な子供が
疑うことなく唱えた「コンコ
ウサマ」が教祖様、教主様に
届いたのでしよう。

しかし、私はどうと子供
の熱が下がった時こそ「あり
がとうございました」という
心になりましたが、次の瞬間
には記念祭に参拝すること
とやら目の前のことで頭が
いっぱい、教会に帰りつきお
礼の御祈念も簡単に済ませ、
一杯やってバタンキュー。そ
して目が覚めれば：「そんな
ことじゃ」としっかりと神様
からお咎めをいただいてお
ります。
(玉置)

道東地区教会連合会ホームページ <http://city.hokkai.or.jp/~mtamaki/DOTO>

行事報告

▼第13回 道東地区教会連合会

パークゴルフ大会

月 日 平成25年6月16日(土) 14時
場 所 釧路教会
参加者 21名(懇親会28名)
雨天のため教会でのレクリエーション大
会となりました。

▼道東地区教会連合会研修会

「神人あいよかけよの生活運動」

道東地区集會

月 日 平成25年6月17日(日)

場 所 釧路教会

参加者 21名

講 師 玉置衛師(教務センター次長)

「運動」の願いについて

実践発表 菊元満氏(帯広教会)

▼道東地区教会連合会役員会

月 日 平成25年9月29日(日)

場 所 北見教会

内 容 今年度行事・会計中間報告

次年度活動内容について

▼KITAフェスタ130

月 日 8月2日(土) 4日

場 所 虻田郡・豊浦町

参加者 32名(道東地区参加者3名)

※教務センターとの共催。青少年の集
いです。

行事予定

▼連合会長選挙、信徒会委員長選挙が年
内に行われます。

▼平成26年度 道東地区教会連合会総会

月 日 3月23日(日)

場 所 帯広教会

来年の大祭(予定)

春 秋

釧路	5月25日	10月19日
北見	5月3日	11月3日
十勝	4月13日	11月16日
帯広	4月20日	11月9日
網走	5月18日	10月26日
滝上	6月8日	11月2日

26年度パークゴルフ大会 連合会研修会

月 日 6月14日～15日
会 場 網走・北見地区